

パソコン講座「はじめての表計算」

開催日 1回目：平成17年9月17日
 2回目：平成17年10月1日
 3回目：平成17年10月8日

講師 本学教授 川 純一 本学講師 関 雅幸

1. はじめに

パソコンは初めて出回り始めた頃に比べ、その性能は飛躍的に向上し、価格も手頃になり、企業や学校はもとより多くの家庭で個人が利用するようになってきた。本学では、このような社会情勢を背景に社会人を対象に平成8年度に初めてパソコン教室（講座）を開講し、以後平成17年度まで下記のような内容で公開講座を実施してきた。

平成8年度 「食わず嫌いのためのパソコン教室」 全5回
 平成9年度 「超初心者のためのパソコン教室」 全5回
 平成11年度 「超入門 Windows & Internet」 全3回
 平成12年度 「超入門 Windows & Internet」 全3回
 平成13年度 「超入門——メール&インターネット——」 全3回
 平成14年度 「入門——メール&インターネット」 全5回
 平成15年度 「インターネットで名刺と年賀状を作ろう」 全3回

開始から約10年が経過しパソコンの家庭への普及度を考慮し、内容も超入門シリーズから徐々に難しくなっている。本年度は実際生活の場面で活かせる表計算ソフトの利用法を中心においた講座とした。

2. 内容

(1) 第1回 表計算ソフトとは

(i) 表計算ソフトとは (ii) キーボードの操作 (iii) コンピュータの立ち上げと表計算ソフト Excelの立ち上げ (iv) データ入力（文字、日付及び数値） (v) 数式の書き方

(2) 第2回 関数の利用とセルの参照

(i) ファイルの開き方、保存の仕方 (ii) 関数の利用（合計を求める） (iii) 相対参照とは (iv) 割合を求める (v) 絶対参照とは

(3) 第3回 家計簿を作ろう

(i) ウィンドウ枠の固定 (ii) VLOOKUP関数 (iii) SUMIF関数

3. 最後に

データ入力に時間を取られ過ぎないようにあらかじめ必要な数値や文字を入力しておいたファイルをフロッピーディスクに保存し、第1回開始時に参加者に配布したが、時間不足で十分な理解が得られたか疑問のところもある。特に最終回の2つの関数は難しかったようである。

最近のノート型パソコンはFD起動装置がついていないものが多く参加者からは家庭で使えないといった意見も寄せられた。今後の検討課題である。

募集人数40名のところ参加希望者は23名で男性5名、女性18名であった。23名のうち全て欠席された方が2名あった。年齢構成は不明であるが40代から70代くらいと推察される。

お手伝いいただいた衛生技術科後藤正徳助手ならびに健康文化学科の学生、嵐早代、井原明子さんに感謝します。